



総力特集●「環境」と「観光」

利用者の視点

行政の視点

オーナーの視点

Contents

総力特集●「環境」と「観光」

IHI NEWS

New Release



41
January, 2011

IHI
PARKING SYSTEMS

IUK IHI運搬機械株式会社 <http://www.iuk.co.jp>

北海道	011-272-9077	静岡	054-255-8965
東北	022-211-9951	関西	06-6281-2025
東京	03-5550-5794・5	中国	082-297-4033
横浜	045-664-5495	四国	087-823-2321
中部	052-586-3261	九州	092-771-7275

IKK 石川島建材工業株式会社 <http://www.ikk.co.jp>

札幌	011-222-1698	大阪	06-6281-2145
東京	03-6271-7228	福岡	092-713-6298
名古屋	052-565-8370		

「環境」と「観光」

「エコ」という言葉を聞かない日はないというほど「環境問題」が定着した現在。近年では2008年7月に行われた北海道洞爺湖でのサミット（主要国首脳会議）において、2050年までの長期的な温室効果ガス排出量削減が全世界に向けて提言されている。その後わが国日本では『低炭素社会』に向けてというプロジェクトが生み出され、今後の社会のなかでそれぞれ国、企業、人がどう動いていくのかが問われるようになった。そこで今号では日本における一大観光都市であり、京都議定書が生まれた場所である『京都』において、「環境」と「観光」をテーマにさまざまな角度から取材を行った。

CLIENT's INTERVIEW 1

オリックス自動車株式会社
レンタカー営業本部
首都圏営業部 首都圏エリア
エリア長 青木 祐一郎 様

PREFECTURE GOVERNMENT's INTERVIEW 2

京都府
文化環境部 環境政策課 企画担当
主任 伊藤 亮介 様

OWNER's VIEW 3

株式会社 若藤 様



オリックスレンタカー 京都駅前店

京都駅を目の前にしたオリックスレンタカー京都駅前店に、民間企業では日本初の「二・多段式機械式駐車場（多段式横行昇降式）用充電システム」が導入されました。「ECOモビリティセンター」として誕生したこちらの店舗では、地域に根ざしながらも世界に向けた環境配慮型サービスを提供しています。

Point 1



■ 二・多段式機械式駐車場用充電システム

<<< 二・多段式機械式駐車場用充電システムは、パレット後部に設けたコンセントに充電用ケーブルを差し込むだけの簡単な操作で、駐車している間自動的に充電されます。

Point 2



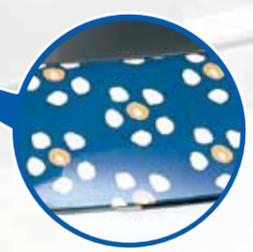
■ eチャリ

「eチャリ」は排出ガスを出さない電動アシスト自動車。環境に優しいのはもちろん、坂道でも楽に乗れ、観光地での移動にとっても便利です。

■ デザインラッピング

<<< なんとも愛らしいユニークなデザインの電気自動車。京都という土地から、落ち着いた花柄模様がフロント部分から、サイドにわたってちりばめられています。

Point 3



オリックスレンタカー京都駅前店	
所在地	京都市南区西九条北ノ内町 13-1
機種	パーキット G2PB (地上2段地下1段昇降横行油圧式)
基数	5連1基 14台
充電システム台数	4台分

Interview

オリックス自動車株式会社
レンタカー営業本部首都圏営業部首都圏エリア長 青木祐一郎様

ECOモビリティセンターの創設
エコをテーマにした新しいビジネスのカタチ

環境対応の電気自動車を京都から全国へ



京都駅目の前にかまえる、オリックスレンタカー京都駅前店。まだ新しいガラス張りのきれいな(WAKATOBIL)の中に入っている。見た目は一般的なレンタカー店舗だが、実際その中はさまざまな環境対応の車両が置かれている、エコに特化したレンタカー店舗なのだ。世間が『エコ』に興味を持ち環境対応の商品で溢れている現在、オリックスレンタカー京都駅前店の環境に対応したさまざまなサービスが注目を集めている。

こう語る。ここ京都駅前店は2010年3月に古都の環境に配慮したECOモビリティセンターを立ち上げ、ハイブリッド車・電気自動車(EV)*からeチャリ(電動アシスト自転車のレンタサイクル)まで環境にやさしい車両を提供している。「ここ京都で、環境対応のレンタカーサービスを提供している店舗と認識していただけましたら幸いです」(青木さん)。

「観光の街であり、環境の街でもある京都の駅前には、エコカーに特化したレンタカーの拠点をたくさんと考える開設しました」。オリックス自動車株式会社レンタカー営業本部の青木祐一郎さん

一般的にEVの運用上、充電に時間がかかるという欠点がある。IUKの充電システムを導入した経緯はそこにあると、青木さんは語る。「レンタカーの業務効率を上げるためには、稼働率に影響なくオペレーションができる環境を整えなければならない。そ

のため機械式駐車場の中で充電できれば、稼働率に影響が少なくてすむと考えました」。お客さまの中では、充電を機械式駐車場で行っているというと驚かれる方も多いという。またEVへの反響も高い。一般的なガソリン車の場合、その内燃機関が車輪に伝える伝達効率は3割以下。しかし、EVではモーターが直接そのまま車輪に伝えるため、伝達効率が6割まで上がる。そのためアクセルを踏みはじめたときのスタートの良さも好評。もちろん音も静かで、EVに乗ることで直に『エコ』を体感できる。EVだからこそ乗りたいというお客さまばかりで、2010年6月25日のサービススタートから申し込みも上々だそう。

オリックスグループ全体として環境対応を表明しているが、オリックス自動車は京都府が取り組んでいるEV及びプラグインハイブリッド車(PHV)*の普及促進に向けた『京都府次世代自動車パートナーシップ倶楽部*』にも参画している。「いろいろな企業が参画しているので、これからの京都においてEVを使った

観光事業が協業できるのではと考え参画を決めました」(青木さん)。京都という土地柄、観光という切り口は外せない。「京都で環境対応のレンタカー店舗を経営しながら、観光商品との連携をはかっていくことが今後のテーマです。そのためにも環境対応車両を使いやすい形で提供していくことを主として考えています」と言葉が続く。さらに旅行商品の中に環境対応のレンタカー、eチャリを組み込んだパッケージプランを商品化し、展開していくという。今後もEVを増やす計画を立てており、ますます多くの方がEVを利用する時代がやってくる。

世界規模の環境問題を考えながら、新しい形でサービスを提供していく。わたしたち一人ひとりが今の暮らしを保ちながら、環境問題に取り組みなければならぬ。その中で、自動車における『エコ』も必要不可欠である。今回環境と観光、新しいビジネスのカタチを青木さんに語っていただいた。京都から全国へ。EVが当たり前になる日も近い。

補足説明

電気自動車(EV)
「Electric Vehicle」の略。ガソリンエンジンを使わず、すべてを電気モーターの動力でまかなう自動車。

プラグインハイブリッド車(PHV)

「Plug-in Hybrid Vehicle」の略。電気モーターとガソリンエンジンの併用で駆動する。EV・PHVともに、家庭用コンセントから充電することができる。次世代の車として注目を集めている。

京都府次世代自動車パートナーシップ倶楽部

京都府内におけるEV及びPHVの普及促進に向け、京都府が推進する「電気自動車等普及促進計画」と連携し、産学公の様々な事業者、団体及び大学等が協力・連携し、EV・PHVの普及、充電設備の設置、普及啓発、効果評価、情報発信、その他EV・PHVの普及促進に必要な事項の活動を行う。





Interview
京都府
文化環境部環境政策課
伊藤亮介様

官民一体となったエコへの取り組み
観光を切り口とした新しいエコカー普及の形

E・V・P・H・V、世界の情報発信地へ



歴史と文化の街、京都。京都府内には年間7400万人もの観光客が訪れる、日本随一の観光都市だ。そんな「観光の街・京都」には、世界へ向けたもう一つの顔がある。それは、「京都議定書」誕生の地としての「環境の街・京都」という顔である。平成9年に「京都議定書」が採択されて以来、京都府では環境に対するさまざまな取り組みを行ってきた。

そんな京都府が、昨年新たに行った取り組みがある。それは、「EV」と呼ばれる電気自動車や、「PHV」と呼ばれるプラグインハイブリッド自動車の普及のための事業、『京都EV・PHV物語』だ。「京都という街の特性を考えたときに、やはり観光を切り口としてEV・PHVの普及を

進めていきたいと考えましたね」と語るのは、京都府文化環境部環境政策課の伊藤亮介さん。国が推進する「EV・PHVタウン構想*」にも採択され、2009年度からEV・PHV普及のための事業を行っている。

「観光を切り口としたEV・PHV普及」のためにまず京都府が行ったのは、それらの自動車をタクシーやレンタカーに導入することだ。京都府ではEVやPHVを購入するタクシー・レンタカー事業者に、国の補助金に乗せする形で補助制度を創設するとともに、電気を動力とした自動車に欠かせない充電器も率先して整備*を進めている。「車両導入と充電器整備とあわせて、次はそれを使ってもら

ような政策を打つ必要があるだろうと考えました。そこで、利用者の方々に何かしらのメリットを感じていただいて、電気自動車を体感してもらおう環境をつくっていききたいということで始めたのが、『京都EV・PHV物語』なんです」と、伊藤さんは語る。主にタクシーやレンタカーを利用する観光客へ向けたメリットとして、京都の街を巡る際に立ち寄る寺社仏閣や食事施設・観光施設などでの優待だ。その内容はさまざまだが、利用者からは大変好評を得ているという。

CO2を排出しない電気自動車に乗って環境配慮にも取り組むことができる。最後に、京都の歴史ある寺社仏閣を優待的に観光していただくこともできる(伊藤さん)。これが、3つのプラスアルファだ。

さらに利用者に対しては、「3つのプラスアルファ」があると、伊藤さんは語る。そのひとつが「文化財を守り伝える京都府基金(ふるさと納税制度)」の活用だ。京都府のふるさと納税は、集まったお金が文化財保護に活用される。『京都EV・PHV物語』においては、タクシーやレンタカー利用の売上の一部が、ふるさと納税に寄付される仕組みになっている。「ですので、実際に乗られた方は間接的ではありませんが、文化財の保護にも協力いただいていることとなります。さらに、

『京都EV・PHV物語』のメリットは利用客にのみあるわけではない。タクシー・レンタカー会社からすれば自社のPRにもなっている。もちろん、行政である京都府としてはこういった民間からの協力によって、更に電気自動車の普及を進めることができる。まさに、『エコ』を軸とした官民一体の取り組みが、京都府では行われている。伊藤さんはこう言う。「我々行政ができることには限りがありますが、仕組みを作ることによって民間のみならず皆さんがどんなアイデアを出して発展させてくれる。将来的な展望として、EV・PHVの普及はビジネスベースで回っていかねばいけないと思っていますので、我々が作らせていただいた幹の部分に対して枝葉となるような民間のみならずの動きが出てくるというのは、

非常に大きな発展となるのではないのでしょうか。

EV・PHV普及の動きは、関西圏に広がりを見せている。「世界の人が電気自動車に乗りたい」と思った時に、関西に行けば乗れる、という認識を持ってもらえるようになりたいですね。さらに言えば、その中でも京都という名前は世界的に知名度がありますから、そこを存分に活用していきたい。EV・PHVに関する情報発信の中心地になりたいですね」と伊藤さんは語る。

京都から、世界へ。地域全体での環境に対する取り組みに、今後も注目していきたい。



↑京都府庁の屋上緑化施設「京てらす」。環境に対する意識の高さが見受けられる。



補足説明
EV・PHVタウン構想
EV・PHVの本格普及に向けた、実証実験のための国のモデル事業。京都府のほか、全国7都市がモデル地域に指定されている。大都市・地方都市・離島など、異なる性質を持った地域でのEV・PHVの実証を実施している。
充電器の整備
京都府には普通充電器のほか、12基の急速充電器が設置されている。今年度末には更に設置が進む予定。



View

株式会社若藤様

京都市初のCASBEE Aランクを取得
環境に配慮した新しいオフィスビルの型(かたち)

環境配慮型先進技術の現在



京都は「環境の街」でありながら、そもそも「歴史と文化の街」である。現代のビジネス社会における『京都』を語る上で、この三つのキーワードは外せないものである。先に紹介した「オリックスレンタカー京都駅前店」が入っている「WAKATOビル」は、京都の土地柄にふさわしい環境配慮型オフィスビルとして建設された。今号の最後に、この「WAKATOビル」とそのデベロッパーである「株式会社若藤」を取り上げたい。

京都駅南口の商業地域にたたくむ、ガラス張りのきれいなビル。開放感溢れるその「WAKATOビル」は、「地球環境に配慮したサステイナブルなモデルビル」をコンセプトに建設され、

第三者機関である日本ERI株式会社の評価により京都市で初めてCASBEE Aランク*を取得している。ここでCASBEEについて説明すると、CASBEE(キャスビー、建築環境総合性能評価システム)とは建築物を環境配慮やランニングコスト、性能面を客観的に評価したシステムのことである。実際に建物を見てみると、入り口にすぐ太陽光発電カウンターがあり、また屋上には庭園や太陽光発電パネルがあるなど、「環境配慮技術の可視化」が新しい景観イメージを創出しているのだ。

さらには、自然の材料が持つ素材感を活かした外観にはダブルスキン*を利用し、また防音壁をヘデラの混植による緑化壁とすることで、ガラススクリー

ンを通した緑のスカイラインと
している。

ント」である」と表明している。

現実的に、日常の身の回りにあるものがほとんど環境を意識したモノに移り変わっているのは間違いない。飽和した社会において、新たなビジネスチャンスを見つめるきっかけに「ECO」がテーマとされている中で、環境マネジメントというビジネスを確立しているのが「WAKATOビル」のデベロッパーである『株式会社若藤』である。

『株式会社若藤』では、組織活動が環境に及ぼす影響を最小限にいとめる環境保全の方針や目標を設定し、達成に向けて活動することが「環境マネジメント」

日常の私たちのすぐ目の前にある、飲食物や家電製品、また車などあらゆるものが「ECO」であるためには、それらを取り巻く産業としての建物やそのシステム、更には住居としての建物こそが「ECO」でなければならぬ。優れた先進性のある環境配慮技術が、より環境に配慮されたモノを生み出していく。この流れこそ、世界規模の環境問題を救っていく一つの架け橋になる。



太陽光発電カウンター

↑ 建物が環境学習教材となるようエコスクールの考え方を取り入れ、人通りの多い入り口に組み込まれている。また、実際に見てもらおう人に地球環境への配慮も伝えている。

補足説明

CASBEE
CASBEEは「Comprehensive Assessment System for Building Environment Efficiency」の略。建築物のサステナビリティ(持続可能性)における、広い意味での環境性能を評価することが必要になってきたため開発された。AランクのWAKATOビルは、サステナブル建築として優良とみなされる。



ダブルスキン

ダブルスキンとは、窓際の温熱環境を向上させ、省エネを図る建築手法のこと。建築物の外壁の外側の一部または全面を更にガラスで覆い、外側のガラス面の上下に開口部を設け、下部からとり入れた空気を、日射熱により生じる浮力を利用して上部から排気するシステム。季節に応じて換気された空間は、夏季は日射熱を軽減させ、冬季は保温効果を発揮する。そのため、温熱環境が向上し省エネにとっても有効とされている。

会社概要

会社名
株式会社若藤
代表者
奥田和也
本社
京都市下京区綾小路通柳馬場東入塩屋町60-2フロックMビル
東京事務所
東京都千代田区永田町2丁目10番2号
創業
平成8年9月20日
不動産コンサルティング技能士(第28627号)
一級建築施工管理技士
大阪ESCO協会正会員
ISO9001(取得)
ISO14001(取得)
事業内容
(1)環境マネジメント
(2)不動産コンサルティング
(3)コンストラクションマネジメント
(4)都市開発総合プロデュース

施設概要

名称
WAKATOビル
所在地
京都市南区西九条北ノ内町13-1
用途
事務所・駐車場
構造
鉄筋コンクリート造(一部プレストレストコンクリート造)
規模
地上6階地下1階
敷地面積
713.80㎡
建築面積
529.80㎡
延床面積
3355.68㎡
最高高さ
28.0m

New Parking

IHI が 満 を 持 し て お 届 け す る

地 下 式
パーキングの

進化形

その名も

「SECRET」

New
Release



2011年2月 販売決定！
是非、ご期待ください！

IHI NEWS

No.41 January 2011 / NEWS TOPICS

納入 「サングランデ印西牧の原ドアシティ向け自走式駐車場完成」

「サングランデ印西牧の原ドアシティ」は、総戸数400戸の大規模マンションです。平成22年7月の成田新高速鉄道開業に伴い、その中継都市である千葉ニュータウンの暮らしを大きく広げる事をコンセプトに建設されました。連続傾床式を採用し、緩やかな床勾配と高い駐車効率を実現しました。また、高さを抑えるため2階建てとし、各階段にはホテル錠を設置して、セキュリティにも配慮しております。

概要

所在地	千葉県印西市原3丁目2番地
事業主	京成電鉄株式会社
設計	株式会社東急設計コンサルタント
施工	京成建設株式会社
機種	IK/パークK型(2層3段 連続傾床式)×2棟
延床面積	B2棟:4,670㎡ C2棟:1,721㎡
駐車台数	B2棟:304台 C2棟:84台



納入 「タワーパーキング向け電気自動車充電システム」

新潟市のオフィスビルにタワーパーキング向け充電システムを納入いたしました。本駐車場は普通自動車13台・ミドルルーフ13台を収容可能で、そのうち充電システムを5台分導入いただきました。環境保護の観点から、EV(電気自動車)やPHV(プラグインハイブリッド)などエコカーの本格的な普及を迎えるにあたり、今後も環境に配慮した駐車場を提案してまいります。



納入 「仙台市太白区役所向けエレベータパーキング完成」

宮城県仙台市の太白区役所向けに、3基連立式エレベータパーキングを納入いたしました。本駐車場は普通乗用車72台を収容できます。今後は区役所を訪れる多くの方が利用されます。今後も利用者にとって安全・安心・快適な駐車場を提案し、販売してまいります。

